

2011.02.27 聖別会

# IMMANUEL

インマヌエル  
中目黒キリスト教会  
聖別会マンスリー



2011年

<ジョン・オズワルト著 『聖』を生きる人々>

## 第10章「新約聖書の期待するクリスチャン生涯」 ——新約における「完全」の教え——

テキスト:

「だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」  
(マタイ 5:48)

はじめに: 旧約聖書における「完全」=タミム

- ①神の前に責められるところのない歩み
- ②完全にささげきった動機と願いと意志

タミムに対応する新約の言葉は二つ:

### 1. テレイオス

- ①完全な状態、完成 (期待される全てに到達している人=大人) (1 コリント 13:20、エペソ 4:13、コロサイ 1:28)
- ②「適切に完了する」「本来の目的を十分達成する」(使徒 20:24)。愛について言えば、愛の本来の目的を十分に達成することが「愛の完全」である。マタイ 5:48 の命令は、人に対する神の愛が混じりけのない完全なものであり、私たちの愛も同様であるべきと示している。このような愛は可能である、と主は思っておられた。パウロも、愛は完全な賜物であると述べている(1 コリント 13:10)。ヨハネも、私たちが愛において完全なものとなりうると述べている(1 ヨハネ 4:16-18)。
- ③「この世では到達できない目標」としての「完全」もある(ピリピ 3:12)。これ以上の成長は望めないという絶対的完全がこれで、パウロは、自分がそこには到達していないと告白する。同時に 3:15 では、神に対して明け渡したという点では完全である、とも主張している。

## 2. アメムフォマイ : 「傷がない」「欠けがない」

- ①生贄の動物に欠けのないこと(1 ペテロ 1:19)。
- ②人間の状態について、傷や欠けのない神のご性質が分かち与えられること(エペソ 5:25-27)、お互いが利己的な動機でなく、愛をもって接していくこと(ピリピ 2:14-16)。このことを可能にするのは、自分の努力ではなく、神の力による(1 テサロニケ 3:12-13、5:23、ユダ 24)。

終わりに：旧約時代には、完全は一部の人に可能であったが、新約時代には、「キリストの犠牲を通して全てのクリスチャンに与えられているため、こうした聖なる歩みが全てのクリスチャンに期待されている。」

“Holiness unto the Lord” is our watchword and song;  
“Holiness unto the Lord” as we’ re marching along.  
Sing it, shout it, loud and long;  
“Holiness unto the Lord” now and forever.